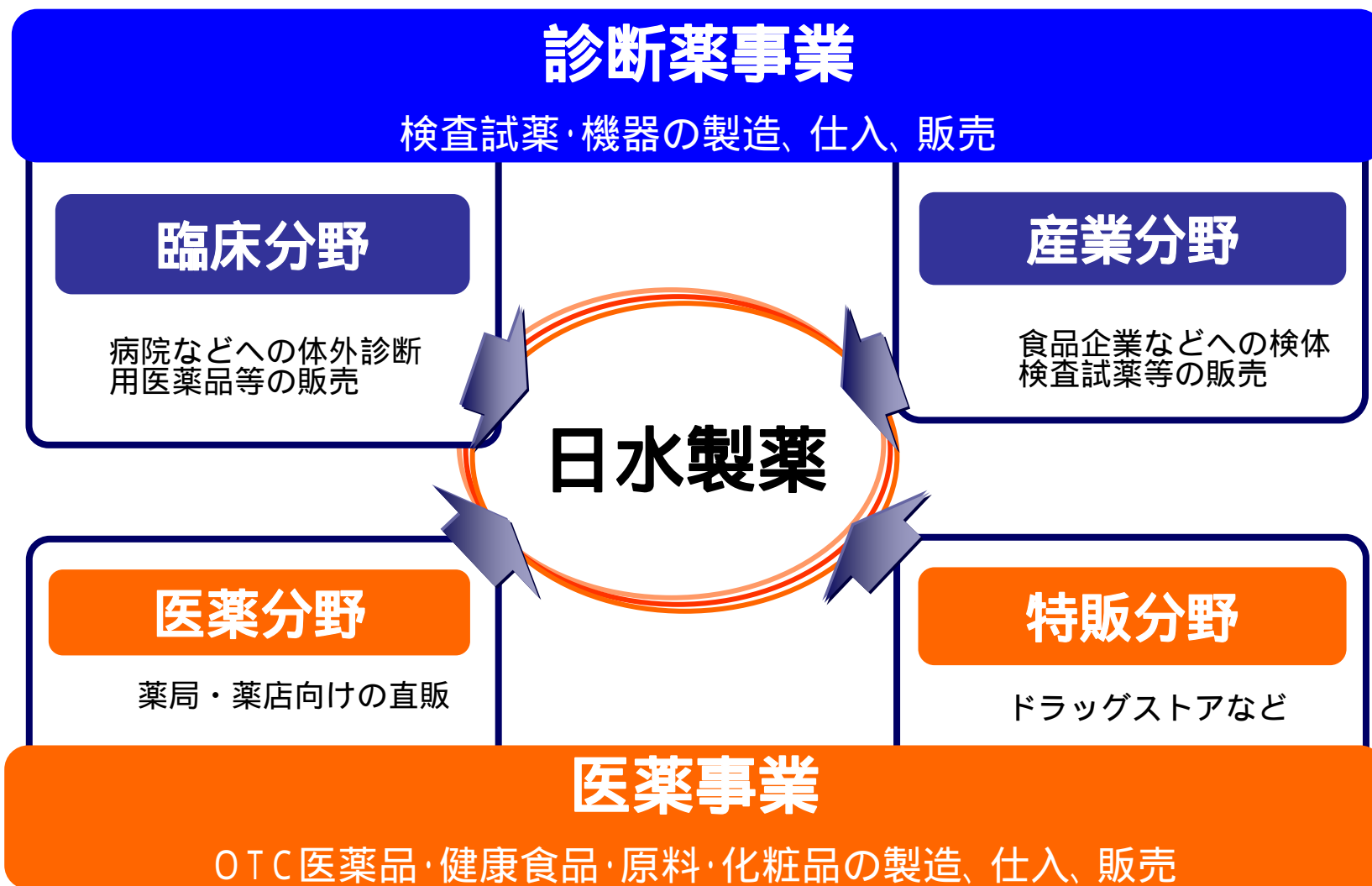


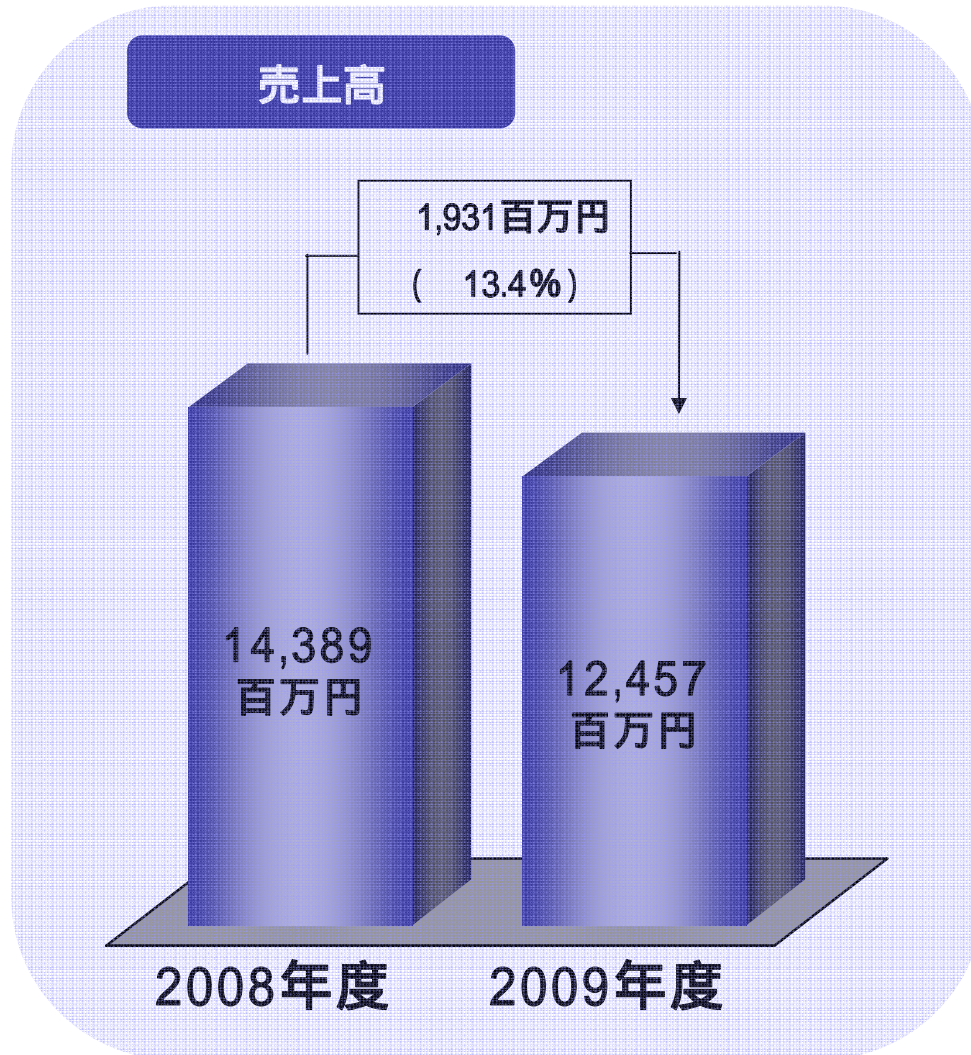
平成22年3月期 決算説明会

平成22年5月21日
日水製薬株式会社
代表取締役社長執行役員 佐々義廣

事業の構造



売上高の増減要因

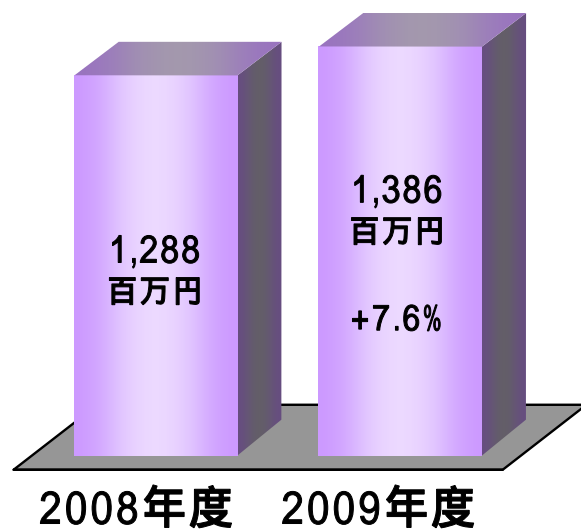


- グループ内にて「海の元気倶楽部」通信販売事業の構造改革を実施
 - 当社子会社であるライフミンにて行っていた販売業務は親会社の日本水産へ統合
- 医薬事業が全般的な消費不振などを背景に低調

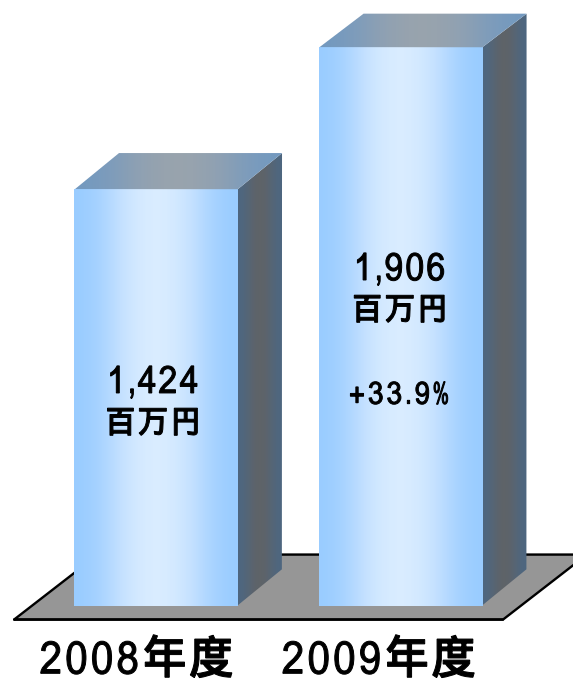
営業利益・経常利益・当期純利益

増益

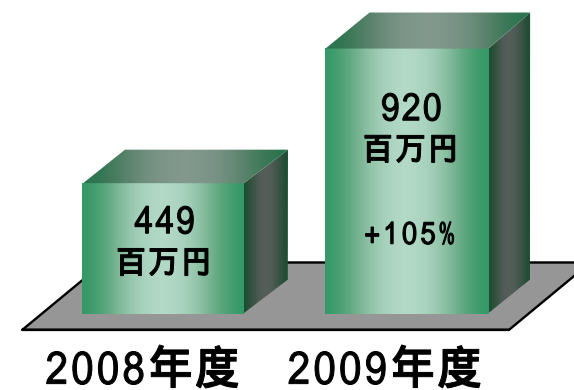
営業利益



経常利益



当期純利益

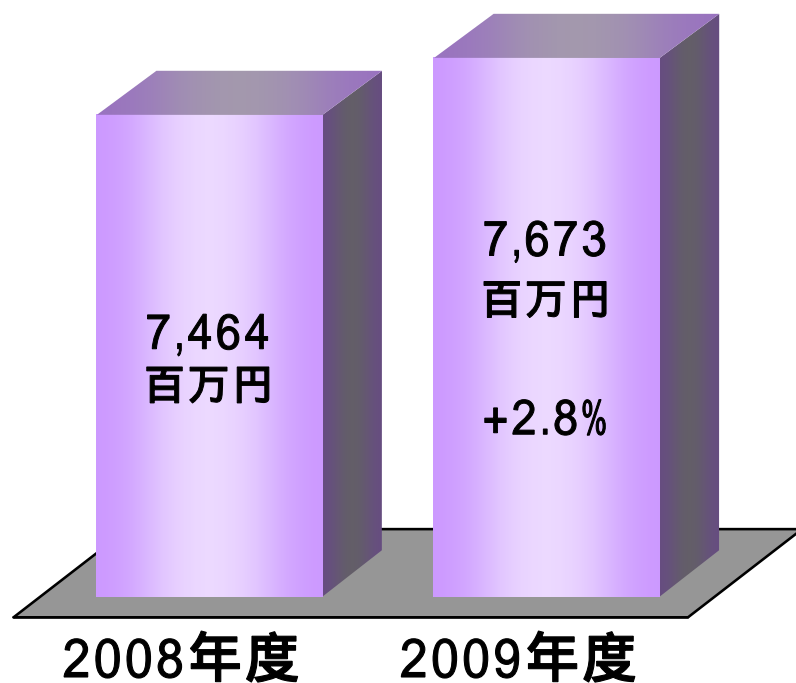


* 下段は前年比増減率

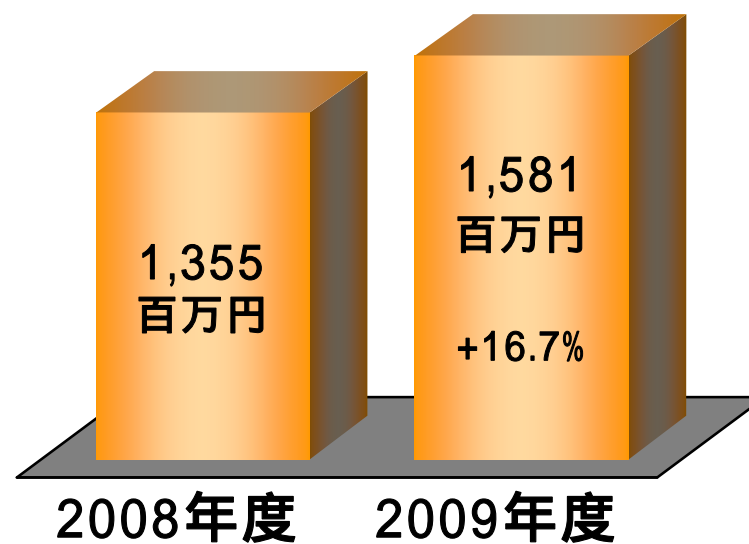
【診断薬事業】 売上高・営業利益

増収(+209百万円) 増益(+226百万円)

売上高



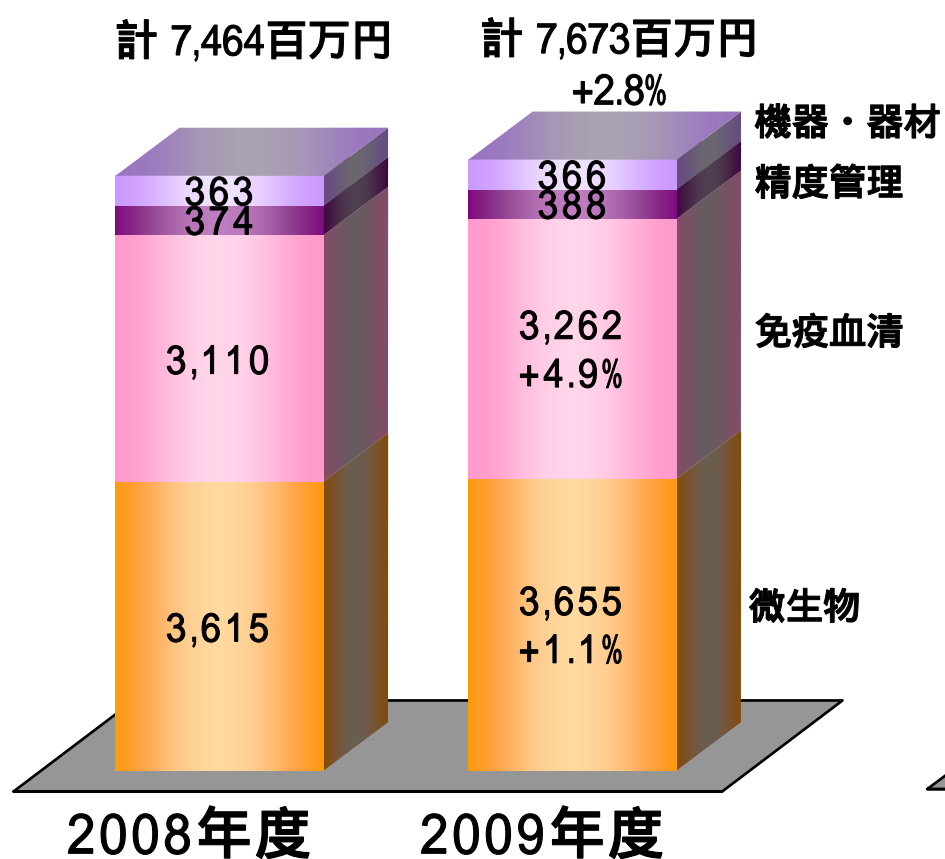
営業利益



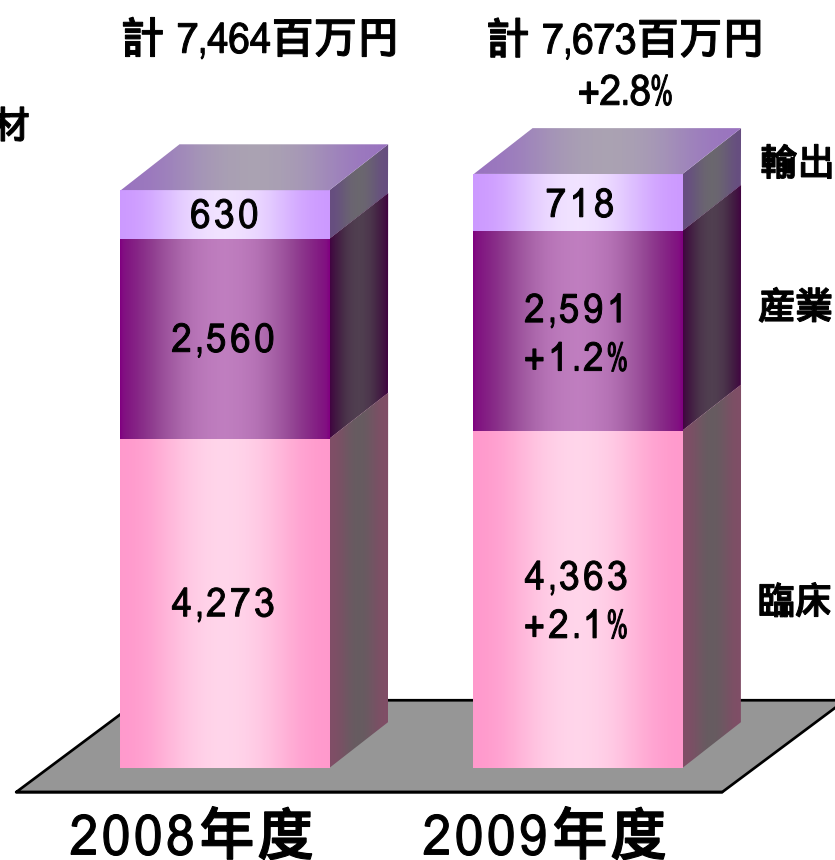
* 上記の営業利益は、事業部門に配賦できない支援部門に係る費用等が控除されて下りません。

【診断薬事業】 商品・販売分野別売上高

商品分野別売上高



販売分野別売上高

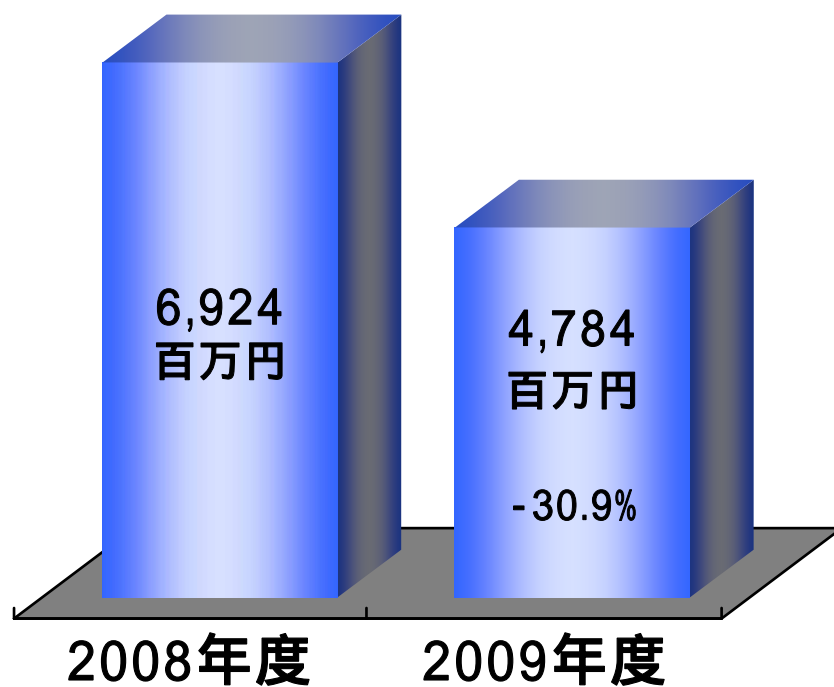


【医薬事業】 売上高・営業利益

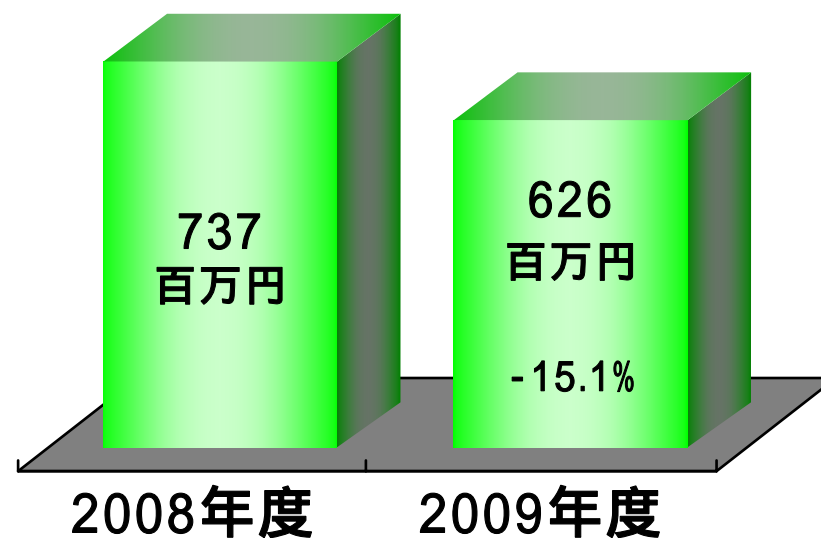
通販事業の役割分担の見直し

消費低迷の影響

売上高



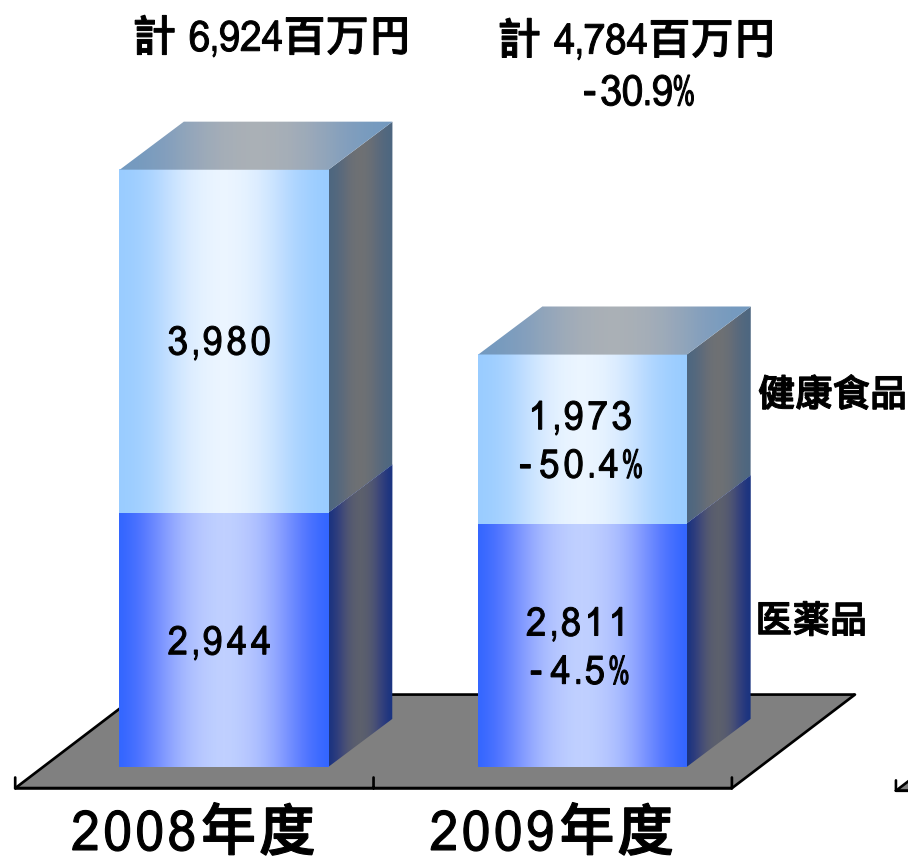
営業利益



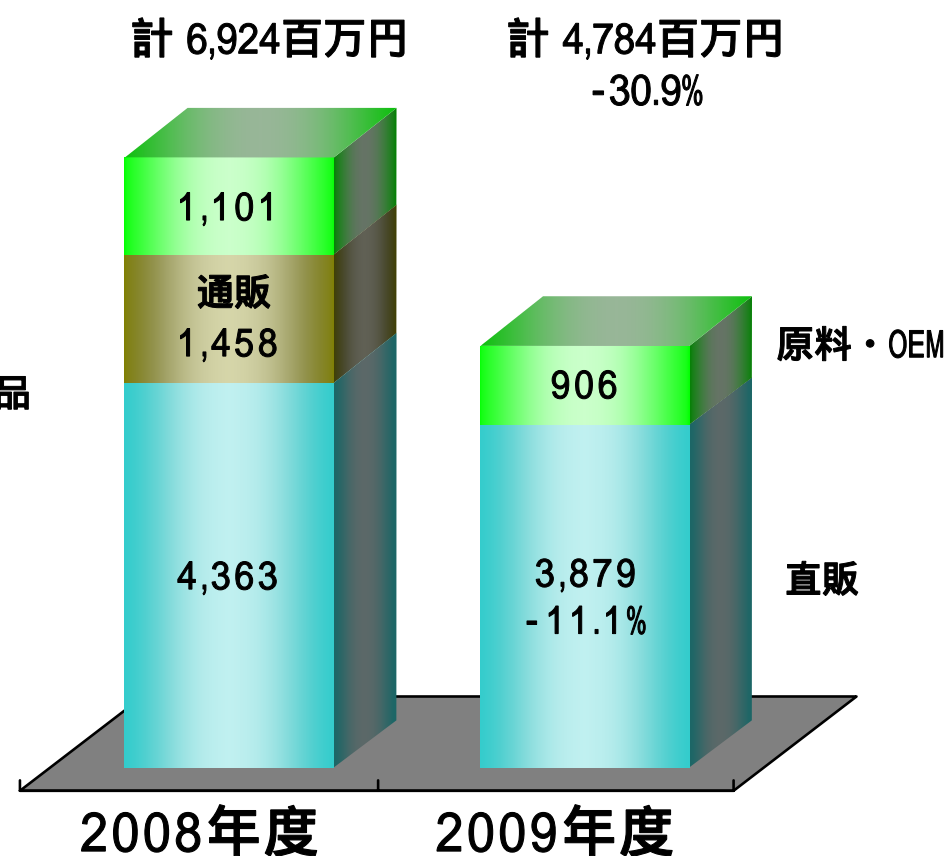
* 上記の営業利益は、事業部門に配賦できない支援部門に係る費用等が控除されて下りません。

【医薬事業】 商品・販売分野別売上高

商品分野別売上高



販売分野別売上高



事業成果

2009年6月

スイッチOTC販売契約締結

2009年9月

北京同仁堂との共同声明

2010年4月

(株)リスブランの株式取得、完全子会社化

2010年4月

滋養強壮ドリンク剤「ハイアミノ」新発売

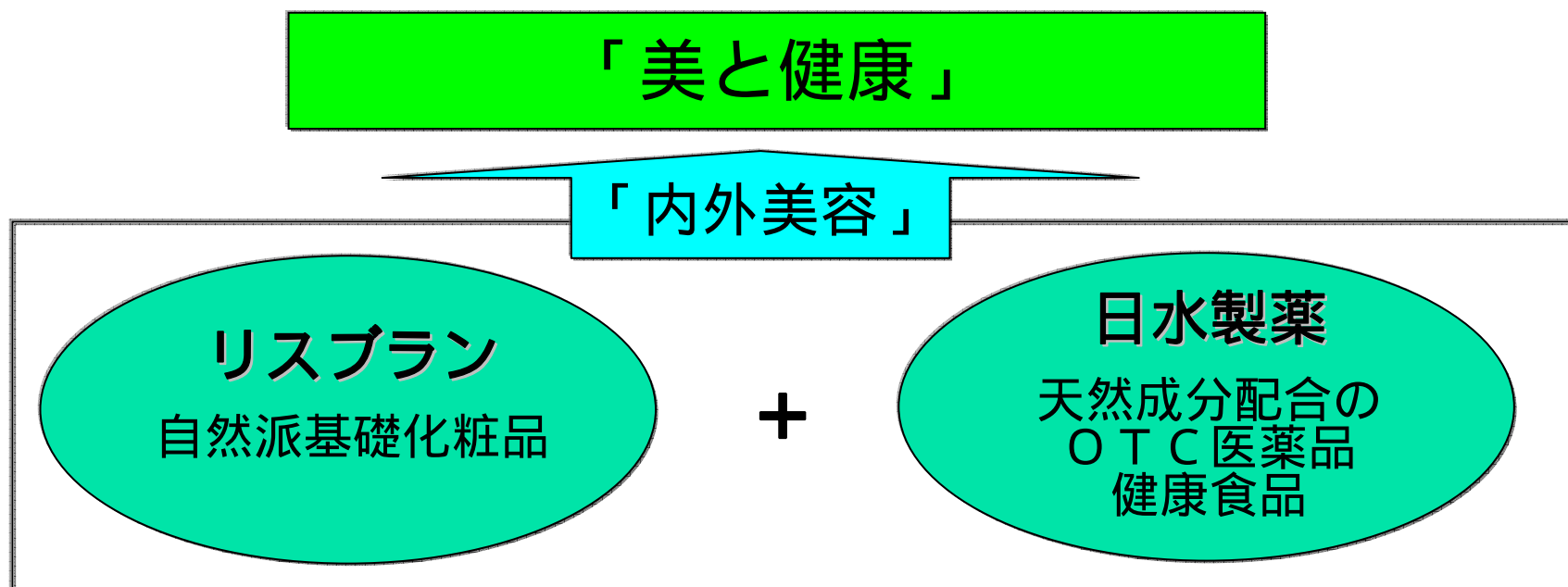
2010年5月

体外診断用医薬品事業の譲受

(株)リスブランの株式取得、完全子会社化

■ 化粧品事業に本格参入

体の内側と皮膚の表面からお肌を整える
「内外美容」により「美と健康」を実現する



化粧品事業への取り組み

- シナジーの活用
 - 販路強化による新規顧客の獲得
 - 新商品開発力の強化
 - 共通業務の集約化
- 売上目標
 - 2014年度で売上高20億円を達成

滋養強壮ミニドリンク剤 ハイアミノ新発売

- 平成22年4月、ドラッグストア向け滋養強壮ミニドリンク剤「ハイアミノ」(第3類医薬品)を発売
- 当社製造原料「肝臓加水分解物」を配合し、肝臓やアミノ酸に焦点を当てた商品
- 今後ドラッグストア向け商品のラインアップの充実を図る
- 2011年に売上高1億円を目標



グルカン測定体外診断用医薬品事業譲受

- 診断薬事業における微生物関連分野を強化
- 平成22年5月、グルカン測定体外診断用医薬品事業を、生化学工業(株)および生化学バイオビジネス(株)より譲受
 - 平成22年6月1日より販売開始予定

(1 3)- -D-グルカン測定体外診断用医薬品

- 深在性真菌感染症の診断に用いられる
- 売上高、年間約2.5億円を見込む(シェア率約50%)

+

当社製品

- 真菌用培地などの微生物関連製品

シナジー効果の創出を図る

2010年度の経営目標

- **コア事業の強化**
- **飛躍的成長に向けた次の柱となる事業の育成**
- **事業強化、拡大を目的とした戦略的投資
(M & A、事業提携、技術提携を含む)**
- **2010・2011年の2年間で成長事業の基盤を作る
各事業分野の柱によって、確固たる存在価値を作り
上げる(2014年度全社売上高200億円)**

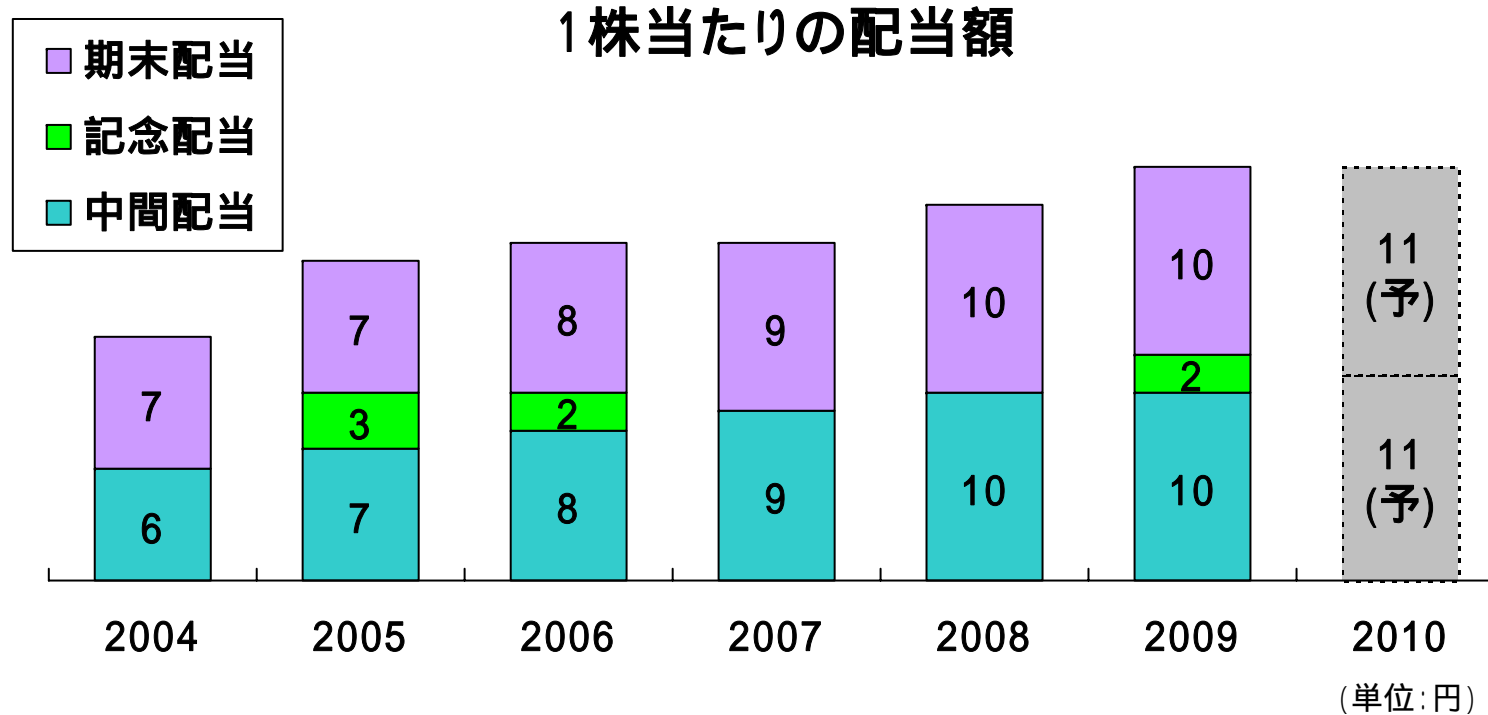
2010年度 連結業績予想

[単位:百万円]

	2010年度 業績予想	2009年度 実績	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	13,820	12,457	+1,362	10.9%
営業利益	1,920	1,386	+533	38.5%
経常利益	2,300	1,906	+393	20.6%
当期純利益	1,370	920	+449	48.8%

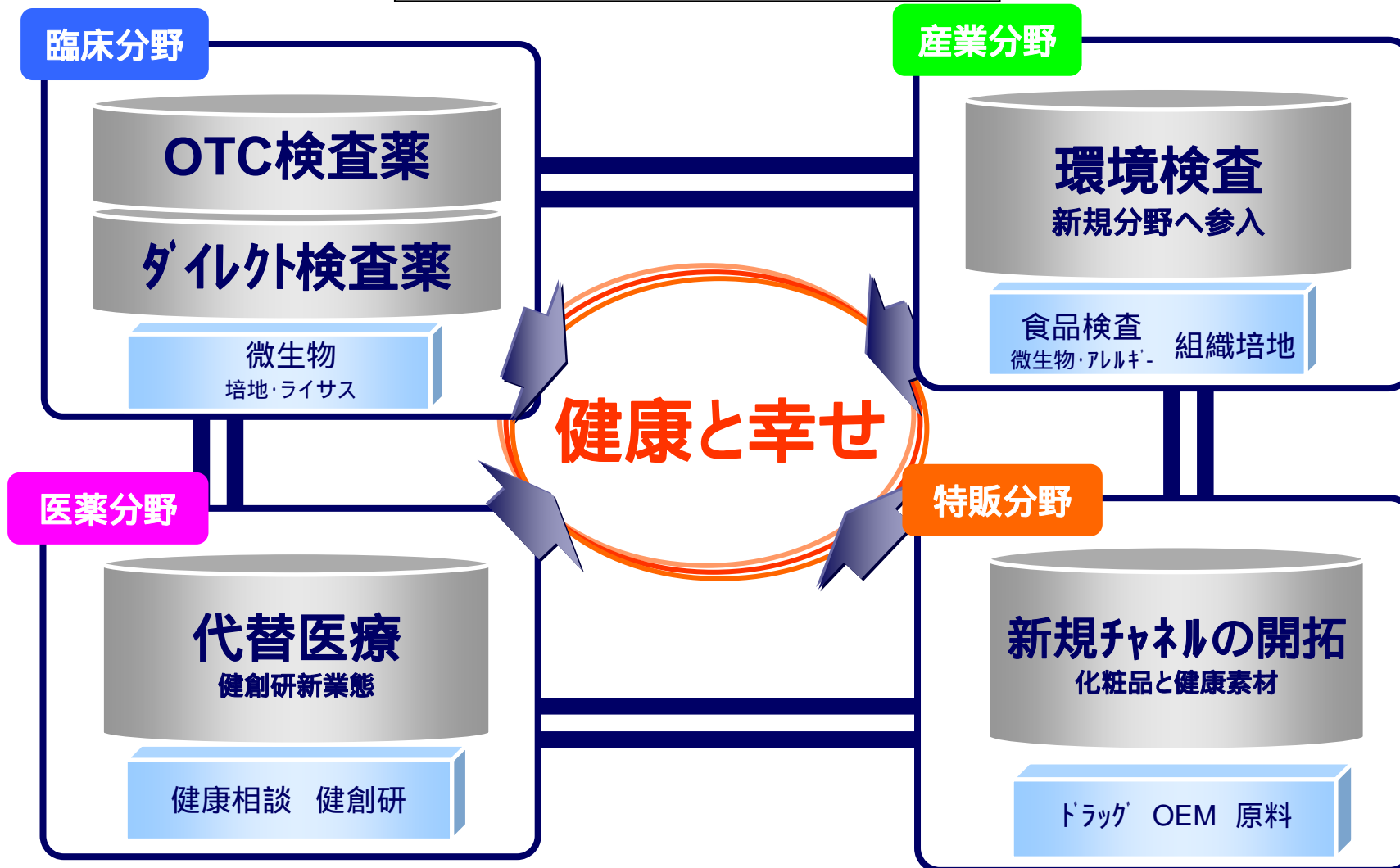
株主還元（配当）

- 持続的な成長への投資を勘案しつつ、安定的な配当を継続する。
- 創立75周年記念配当2円を実施予定



育成すべき4つの柱

健康産業の総合プランナー



診断薬臨床分野「OTC・ダイレクト検査薬」

日本臨床検査薬協会：2009年度計画としてOTC検査薬の拡充を厚生労働省に提案

+

日本OTC医薬品協会：OTC医薬品産業活性化ビジョン(2009)の中で、OTC検査薬を拡充していく方針を明確に示した

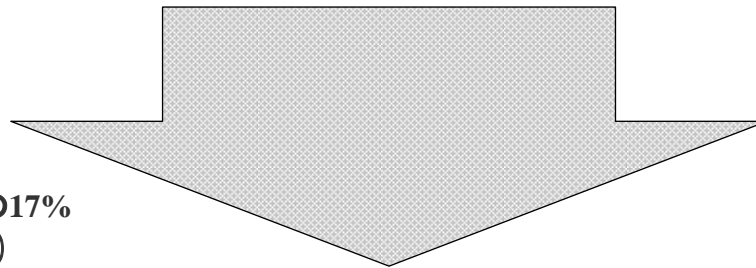
海外市場

6510百万ドル(5924億円)

全診断薬売上39310百万ドルの17%

(Kalorama Information調べ)

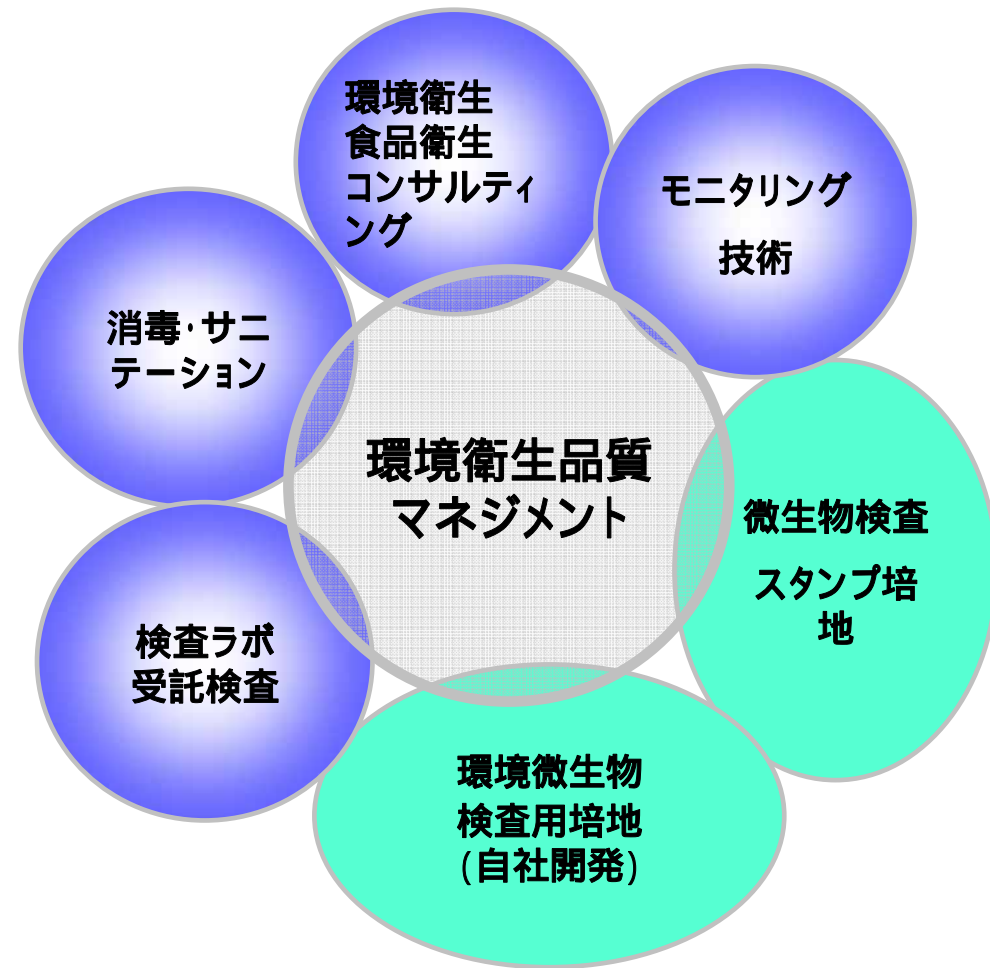
CAGR:10.5%



OTC検査薬・ダイレクト検査薬は、医薬・診断薬事業を保有する当社の特徴が活かされ、成長性が期待できる分野

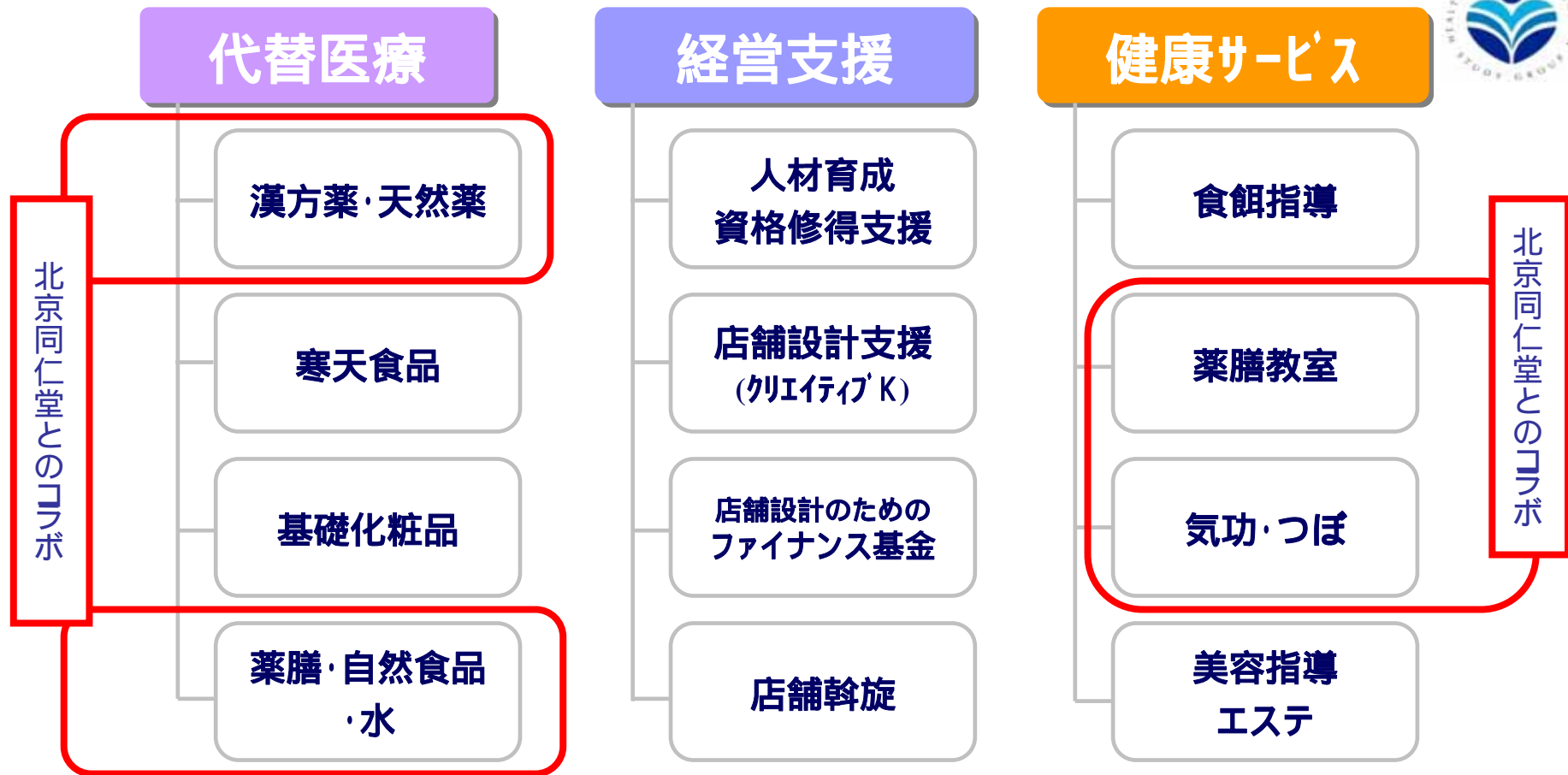
診断薬産業分野「環境検査事業」

- 当社コア技術である微生物検査試薬の活用に加えて、総合衛生コンサルティングに新たに取り組む
- 環境衛生分野の安全安心に貢献する企業へ



医薬分野「代替医療（健創研新業態店のコンセプト）」

代替医療をベースとした商品と健康サービス提供および医・薬・食・美の健康体験型店舗を構築し、健創研会員店の業態変化を促進する

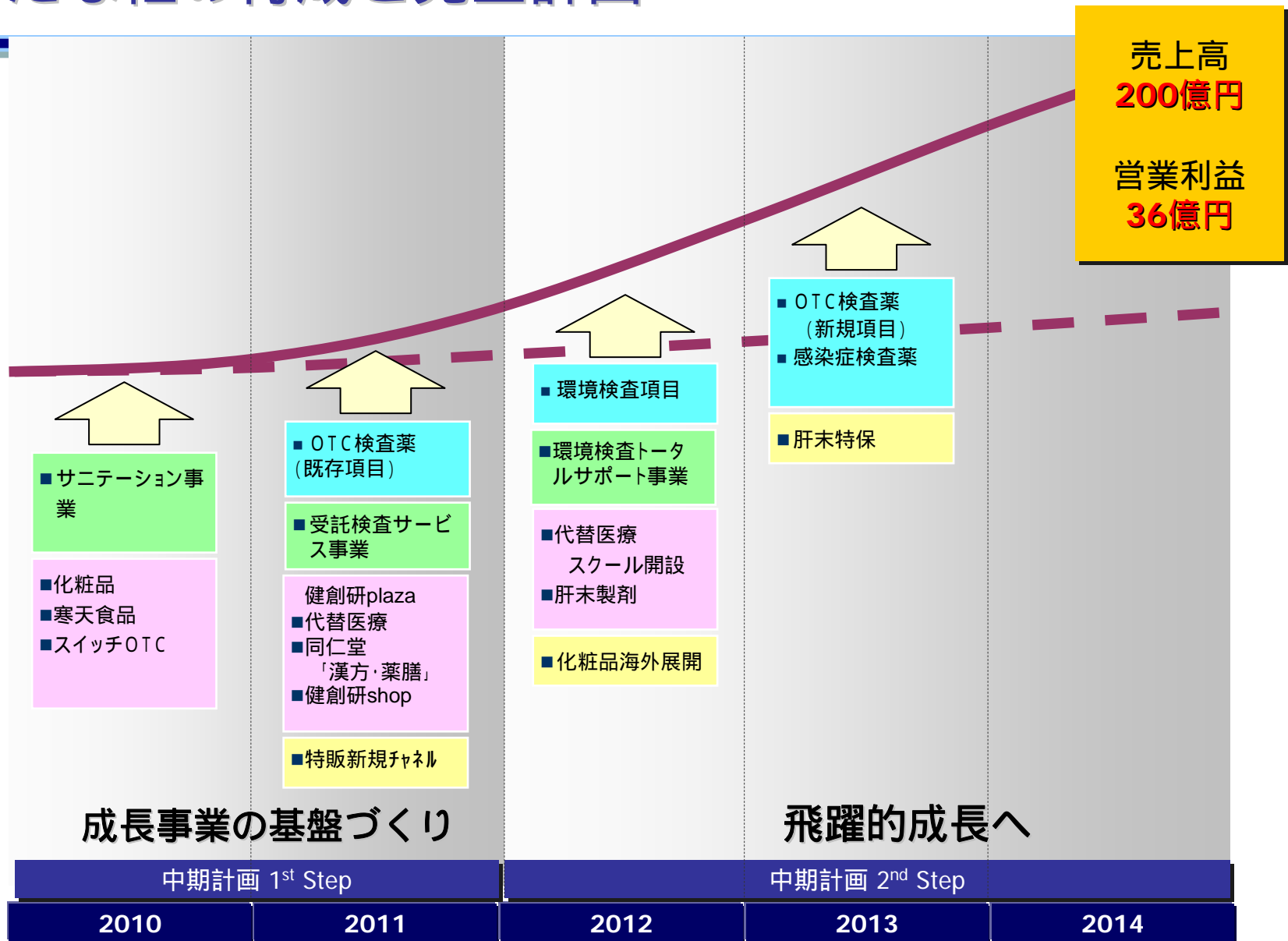


医薬特販分野「新規チャネルの開拓」

天然素材原料の用途拡大提案、天然素材を活かした商品開発を通じて
新規ドラッグ・海外チャネルへの拡大を図る



新たな柱の育成と売上計画



将来に関する記述等についてのご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しております。判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる可能性があります。

本資料の中の情報は宣伝、広告を目的としているものではありません。



日水製薬株式会社